

2-2-2. 調査林分の概況（第2回調査時）

① P-1 区

兵庫県相生市矢野町瓜生から三濃山に至る谷の南部分で、群落高約 9m のアカマツが優占する常緑針葉樹林である。アカマツの他リョウブ、コナラが優占し、下層にはヒサカキ、ツクバネウツギ、コバノミツバツツジなどが出現した。他の調査地と比べて立木密度が高い林分であった。

② P-2 区

兵庫県相生市矢野町瓜生から三濃山に至る谷の北部分で、群落高約 18m のアカマツが優占する常緑針葉樹林である。アカマツの他アカガシ、コナラ、ソヨゴが優占し、下層にはヒサカキ、コバノミツバツツジなどが出現した。優占種であるアカマツの枯死、枝の損傷が目立った。

③ P-3 区

兵庫県相生市矢野町榊または矢野町釜出から山地に至る部分で、群落高約 22m のコナラが優占する落葉広葉樹林である。コナラの他アベマキが優占し、下層にはコバノミツバツツジなどが目立ち、その他ヤブコウジやシシガシラなどが出現した。

2-2-3. 群落属性の変化

群落の構成種の変化を表 2-2-2 に、群落を構成する種の属性の変化について、表 2-2-3①～表 2-2-3③に示した。

① P-1 区

出現種数は2回の調査とともに 16 種で、構成種に変化はなかった。優占種も第1回調査、第2回調査ともにアカマツとリョウブの2種であった。

高木の属性については、Total BA が 42.8 m²/ha から 53.5 m²/ha へと、約 25%増加した。種ごとの BA を見ると、ほぼ全種で BA が増加したが、特に優占種であるアカマツが 21.5 m²/ha から 29.8 m²/ha へと、BA を大きく増加させた。BA が減少したのは、ヒサカキ、コバノミツバツツジ、マルバアオダモの3種のみで、これらはもともと BA が少ない種であった。MAX DBH は、第1回調査、第2回調査ともにアカマツで、17.3cm から 20.4cm へと増加した。MAX H も増加し、第1回調査時はアカマツ、リョウブ、アベマキ、コナラの4種が同じ 6.0m であったが、第2回調査ではアカマツの 8.4m が最大で、2.4m 増加した。一方 DENS. は、第1回調査時の 330.6 本/100 m²から第2回調査時の 269.4 本/100 m²へと減少した。これは主に、ヒサカキやコバノミツバツツジの小径個体が減少したことが原因であると考えられる。

② P-2 区

出現種数は2回の調査とともに 10 種で、構成種に変化はなかった。優占種も、第1回調査、第2回調査ともにアカマツ、アカガシの2種で変化はなかった。

高木の属性についてみると、Total BA が 73.5 m²/ha から 62.3 m²/ha へと、約 15%減

少した。これは、優占種であるアカマツの大径木 (DBH37.6cm と 27.5cm の2個体) が枯死したことが主な原因であり、その他に目立って DBH が減少した種はなかった。MAX DBH は第1回調査、第2回調査ともにアカマツで、45.0cm から 45.1cm へとわずかに増加した。MAX H も2回の調査を通じてアカマツで、16.5m から 18.0m へと増加した。DANS. は第1回調査時の 138 本/100 m²から第2回調査時の 131 本/100 m²へとわずかに減少した。

③P-3区

出現種数は、2回の調査とともに 13 種で、構成種に変化はなかった。優占種も、第1回調査、第2回調査ともにコナラ、アカマツ、アベマキ、リョウブの4種であったが、第1回調査と第2回調査で、アベマキとリョウブの順位の変動が見られた。

高木の属性をみると、Total BA は 44.3 m²/ha から 47.7 m²/ha へとわずかに増加した。種ごとに BA を見ると、優占種であるコナラとアカマツの BA の増加が大きかったが、アベマキとリョウブ、その他第1回調査時に BA の小さかった種のうち、いくつかの種で BA が減少した。特にアベマキの BA の減少は大きく、それによって優占種の順位変動が起こった。MAX DBH は、2度の調査を通じてアカマツで、29.9cm から 31.8cm へと 1.9cm 増加した。一方 MAX H は、第1回調査時にコナラの 17.0m が記録されたが、第2回調査時はアカマツが 22.0m を記録し、5m 増加した。また、DENS. は第1回調査時の 96 本/100 m²から 87 本/100 m²へと減少した。種ごとに DENS. を見るとヒサカキ、ソヨゴの2種が減少しており、他の種では変化はなかった。

表2-2-2 森林構成種リスト(兵庫県)

種名	Latin name	兵庫P-1		兵庫P-2		兵庫P-3	
		第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回
常緑針葉高木							
アカマツ	<i>Pinus densiflora</i>	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ネズミサシ	<i>Juniperus rigida</i>	○	○	-	-	-	-
落葉広葉低木							
ガンピ	<i>Diplomorpha sikokiana</i>	○	○	-	-	-	-
コバノミツバツツジ	<i>Rhododendron reticulatum</i>	○	○	○	○	-	-
落葉広葉高木							
アオハダ	<i>Ilex macropoda</i>	-	-	-	-	○	○
アベマキ	<i>Quercus variabilis</i>	○	○	-	-	◎	◎
ウラジロノキ	<i>Sorbus japonica</i>	-	-	-	-	○	○
エゴノキ	<i>Styrax japonica</i>	-	-	-	-	○	○
カマツカ	<i>Pourthiaea villosa</i> var. <i>laevis</i>	○	○	-	-	○	○
コナラ	<i>Quercus serrata</i>	○	○	○	○	◎	◎
タムシバ	<i>Magnolia salicifolia</i>	○	○	-	-	-	-
ネジキ	<i>Lyonia ovalifolia</i> var. <i>elliptica</i>	○	○	○	○	○	○
マルバアオダモ	<i>Fraxinus sieboldiana</i>	○	○	-	-	-	-
ヤマウルシ	<i>Rhus trichocarpa</i>	○	○	-	-	-	-
リョウブ	<i>Clethra barvinervis</i>	◎	◎	-	-	◎	◎
常緑広葉低木							
アセビ	<i>Pieris japonica</i>	-	-	○	○	○	○
ヒサカキ	<i>Eurya japonica</i>	○	○	○	○	○	○
常緑広葉高木							
アカガシ	<i>Quercus acuta</i>	-	-	◎	◎	-	-
イヌツゲ	<i>Ilex crenata</i>	○	○	-	-	-	-
シキミ	<i>Illicium anisatum</i>	-	-	○	○	-	-
ソヨゴ	<i>Ilex pedunculosa</i>	○	○	○	○	○	○
ヒイラギ	<i>Osmanthus heterophyllus</i>	-	-	-	-	○	○
ヤブツバキ	<i>Camellia japonica</i>	○	○	○	○	-	-
出現種数		16	16	10	10	13	13

◎は優占種、○は下位種として出現したことを示す

表2-2-3① 種ごとの属性に関する比較(兵庫県P-1)

	RBA (%)		BA (m ² /ha)		MEAN DBH (cm)		MEAN H (m)		MAX DBH (cm)		MAX H (m)		STEM (N)		DENS. (/ha)	
	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回
アカマツ	50.2	55.6	21.5	29.8	10.2	11.9	5.6	7.5	17.3	20.4	6.0	8.4	8	8	2222.2	2222.2
リョウブ	20.8	17.8	8.9	9.5	3.6	4.0	4.6	5.4	6.1	6.7	6.0	8.3	28	25	7777.8	6944.4
リョウブ sub	12.5	10.5	5.3	5.6	3.2	3.6	4.4	5.1	5.5	5.7	6.0	6.7	21	18	5833.3	5000.0
アベマキ	8.3	7.5	3.5	4.0	9.0	9.5	6.0	6.2	9.4	10.2	6.0	6.6	2	2	555.6	555.6
アベマキ sub	3.8	3.2	1.6	1.7	8.6	8.9	6.0	6.6	8.6	8.9	6.0	6.6	1	1	277.8	277.8
コナラ	7.7	7.0	3.3	3.7	3.6	4.4	4.5	5.4	6.7	8.0	6.0	8.7	9	7	2500.0	1944.4
コナラ sub	1.5	1.2	0.6	0.6	3.8	3.7	4.8	5.2	4.5	4.5	5.0	5.7	2	2	555.6	555.6
ヒサカキ	3.7	2.4	1.6	1.3	1.7	2.0	3.1	3.5	2.6	3.2	4.5	4.6	24	14	6666.7	3888.9
ヒサカキ sub	2.2	0.8	0.9	0.4	1.7	2.1	2.9	3.7	2.4	2.5	3.0	4.6	14	4	3888.9	1111.1
ネジキ	2.0	2.4	0.9	1.3	2.6	3.7	4.7	5.3	4.5	4.8	4.9	5.6	5	4	1388.9	1111.1
ネジキ sub	1.0	1.4	0.4	0.8	2.2	3.3	4.6	5.2	3.0	4.5	4.9	5.5	4	3	1111.1	833.3
コバノミツバツツジ	1.8	1.5	0.8	0.8	1.3	1.6	3.0	3.4	1.6	2.2	3.5	4.1	21	14	5833.3	3888.9
コバノミツバツツジ sub	0.9	0.2	0.4	0.1	1.3	1.4	3.0	3.1	1.6	1.6	3.5	3.4	10	3	2777.8	833.3
マルバアオダモ	1.4	1.0	0.6	0.5	1.9	2.0	4.0	4.1	2.4	2.5	4.5	5.1	7	6	1944.4	1666.7
マルバアオダモ sub	0.6	0.3	0.2	0.2	1.9	1.9	4.0	3.8	2.0	1.9	4.5	4.0	3	2	833.3	555.6
タムシバ	1.1	1.0	0.5	0.6	3.0	3.2	4.3	5.3	4.5	4.8	5.5	7.1	2	2	555.6	555.6
ソヨゴ	1.0	0.8	0.4	0.4	2.5	2.5	3.4	4.3	3.2	3.2	3.8	5.0	3	3	833.3	833.3
ヤブツバキ	0.6	1.6	0.2	0.9	2.4	3.1	3.6	3.9	2.6	4.1	4.1	5.0	2	4	555.6	1111.1
ヤブツバキ sub	0.2	0.9	0.1	0.5	2.1	2.7	3.0	3.5	2.1	3.2	3.0	4.4	1	3	277.8	833.3
ヤマウルシ	0.5	0.6	0.2	0.3	1.8	2.0	3.6	3.6	2.6	3.2	4.0	3.9	3	3	833.3	833.3
ネズミサシ	0.3	0.2	0.1	0.1	2.5	2.2	3.5	4.0	2.5	2.2	3.5	4.0	1	1	277.8	277.8
ガンビ	0.2	0.2	0.1	0.1	1.5	1.6	3.8	3.3	1.5	1.9	4.0	3.6	2	2	555.6	555.6
イヌツゲ	0.2	0.2	0.1	0.1	1.9	2.2	3.0	3.4	1.9	2.2	3.0	3.4	1	1	277.8	277.8
カマツカ	0.1	0.1	0.0	0.1	1.3	1.6	3.0	3.1	1.3	1.6	3.0	3.1	1	1	277.8	277.8
TOTAL	100.0	100.0	42.8	53.5	3.0	3.7	3.9	4.7	17.3	20.4	6.0	8.7	119	97	33055.6	26944.5
TOTAL sub	100.0	100.0	9.7	9.9	2.5	3.2	3.8	4.6	8.6	8.9	6.0	6.6	56	36	15555.6	10000.0
コナラ(枯死)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
リョウブ(枯死)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
TOTAL(枯死)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

* BA: 胸高断面積合計(m²/ha) RBA: 相対胸高断面積(%) DBH: 胸高直径(cm) H: 樹高(m) STEM: 幹数 DENS.: 幹数密度

* 種名の後の "sub" は萌芽幹を示し、萌芽幹に続く属性値はその種全体の数値内で萌芽間が占める値を指す

* 種名の後の "(枯死)" は枯死幹を示し、それに続く数値は全枯死幹内でその種が占める値を指す

* 数値の網掛けは各回での優占種を示す

表2-2-3② 種ごとの属性に関する比較(兵庫県P-2)

	RBA (%)		BA (m ² /ha)		MEAN DBH (cm)		MEAN H (m)		MAX DBH (cm)		MAX H (m)		STEM (N)		DENS. (/ha)	
	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回
アカマツ	54.6	44.7	40.2	27.9	30.4	27.9	15.9	17.3	45.0	45.1	16.5	18.0	5	4	500.0	400.0
アカガシ	23.6	28.4	17.3	17.7	10.4	10.7	11.5	11.9	20.1	22.0	16.0	16.0	16	15	1600.0	1500.0
アカガシ sub	3.7		2.3			7.2		11.9		9.8		15.0		5		500.0
ソヨゴ	8.0	9.3	5.9	5.8	5.8	6.3	7.4	7.3	9.3	9.8	12.0	11.5	20	17	2000.0	1700.0
ソヨゴ sub	1.5		0.9			6.1		7.3		8.0		10.0		3		300.0
コナラ	7.1	8.6	5.3	5.4	12.3	12.5	13.5	13.0	17.0	17.2	16.0	17.0	4	4	400.0	400.0
コナラ sub	0.7		0.5			7.6		10.0		7.6		10.0		1		100.0
ヒサカキ	4.2	5.8	3.1	3.6	2.5	2.7	3.1	3.3	5.8	6.4	5.6	6.1	56	56	5600.0	5600.0
ヒサカキ sub	0.9		0.6			2.5		2.9		3.2		4.3		12		1200.0
コバノミツバツツジ	1.3	1.5	1.0	1.0	2.0	2.1	3.6	3.3	3.1	3.2	4.4	4.4	28	26	2800.0	2600.0
コバノミツバツツジ sub	0.2		0.1			2.1		3.3		2.7		3.8		4		400.0
ネジキ	0.4	0.6	0.3	0.4	3.5	3.8	5.5	5.6	4.0	4.3	6.7	6.8	3	3	300.0	300.0
ネジキ sub	0.2		0.1			3.9		5.9		3.9		5.9		1		100.0
アセビ	0.4	0.5	0.3	0.3	4.1	4.2	3.8	4.0	5.6	6.0	4.6	4.8	2	2	200.0	200.0
ヤブツバキ	0.3	0.3	0.2	0.2	3.6	3.6	3.6	3.8	4.6	4.5	4.7	5.2	2	2	200.0	200.0
シキミ	0.1	0.1	0.1	0.1	1.9	2.1	2.5	2.6	2.1	2.4	2.7	2.9	2	2	200.0	200.0
TOTAL	100.0	100.0	73.5	62.3	5.2	5.1	5.6	5.6	45.0	45.1	16.5	18.0	138	131	13800.0	13100.0
TOTAL sub	100.0		4.5		4.0		5.6		9.8		10.0		26		2600.0	
アカマツ(枯死)	93.8	96.1	10.1	26.2	35.9	33.0	0.0	6.0	35.9	36.9	0.0	18.0	1	3	100.0	300.0
コナラ(枯死)	6.0	1.9	0.7	0.5	9.1	8.2	0.0	0.0	9.1	8.2	0.0	0.0	1	1	100.0	100.0
アカガシ(枯死)	0.1	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	1	1	100.0	100.0
ソヨゴ(枯死)	0.0	1.6	0.0	0.4	0.0	3.1	0.0	2.2	0.0	5.9	0.0	4.5	1	4	100.0	400.0
コバノミツバツツジ(枯死)	0.3		0.1			2.5		1.3		2.7		2.5	2	2	200.0	200.0
TOTAL(枯死)	100.0	100.0	10.8	27.3	11.6	11.3	0.0	2.7	35.9	36.9	0.0	18.0	4	11	400.0	1100.0

* BA: 胸高断面積合計 (m²/ha) RBA: 相対胸高断面積 (%) DBH: 胸高直径 (cm) H: 樹高 (m) STEM: 幹数 DENS.: 幹数密度

* 種名の後の "sub" は萌芽幹を示し、萌芽幹に続く属性値はその種全体の数値内で萌芽間が占める値を指す

* 種名の後の "(枯死)" は枯死幹を示し、それに続く数値は全枯死幹内での種が占める値を指す

* 数値の網掛けは各回での優占種を示す

表2-2-3③ 種ごとの属性に関する比較(兵庫県P-3)

	RBA (%)		BA (m ² /ha)		MEAN DBH (cm)		MEAN H (m)		MAX DBH (cm)		MAX H (m)		STEM (N)		DENS. (/ha)	
	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回
コナラ	37.9	39.4	16.8	18.8	18.1	19.1	15.5	16.0	27.0	29.0	17.0	18.0	6	6	600.0	600.0
コナラ sub	8.1	8.2	3.6	3.9	14.7	15.3	16.0	16.0	18.3	19.4	16.0	16.0	2	2	200.0	200.0
アカマツ	19.3	20.0	8.5	9.5	21.9	23.1	16.0	18.5	29.9	31.8	16.0	22.0	2	2	200.0	200.0
アベマキ	12.9	10.3	5.7	4.9	15.3	14.2	14.0	14.8	18.3	17.7	16.0	17.0	3	3	300.0	300.0
リョウブ	12.6	11.5	5.6	5.5	7.8	8.2	10.1	10.1	10.3	11.0	11.0	12.0	11	10	1100.0	1000.0
リョウブ sub	4.2	3.8	1.9	1.8	8.8	8.6	11.0	8.0	10.2	10.8	11.0	10.0	3	3	300.0	300.0
ヒサカキ	5.4	6.5	2.4	3.1	2.4	3.0	3.3	3.4	5.5	5.8	5.0	6.0	47	41	4700.0	4100.0
ヒサカキ sub	1.3	1.3	0.6	0.6	2.0	2.7	3.5	3.3	3.2	3.7	5.0	5.0	16	10	1600.0	1000.0
ソゴ	5.1	6.8	2.3	3.3	4.6	5.7	4.7	4.7	8.0	9.5	11.5	12.0	12	11	1200.0	1100.0
ソゴ sub	0.8	0.4	0.4	0.2	3.4	2.9	3.8	3.3	4.7	3.2	5.0	3.5	4	3	400.0	300.0
ウラジロノキ	1.7	1.2	0.8	0.5	5.7	4.7	8.0	7.8	6.4	6.0	8.0	8.0	3	3	300.0	300.0
ウラジロノキ sub	1.0	0.6	0.4	0.3	5.3	4.1	8.0	7.8	6.0	4.8	8.0	8.0	2	2	200.0	200.0
アオハダ	1.7	1.5	0.7	0.7	4.2	4.8	9.0	6.8	8.3	8.4	9.0	9.0	4	3	400.0	300.0
アオハダ sub	0.4	0.3	0.2	0.1	2.8	3.0	9.0	5.8	3.4	3.0	9.0	6.0	3	2	300.0	200.0
エゴノキ	1.3	1.2	0.6	0.6	4.9	5.1	10.0	6.5	8.5	8.3	10.0	10.0	2	2	200.0	200.0
エゴノキ sub	0.0	0.1	0.0	0.0	1.2	1.8	10.0	3.0	1.2	1.8	10.0	3.0	1	1	100.0	100.0
アセビ	1.1	0.8	0.5	0.4	4.6	3.8	2.5	2.8	5.0	5.3	2.5	3.0	3	3	300.0	300.0
アセビ sub	0.3	0.2	0.1	0.1	3.8	3.1	2.5	2.5	3.8	3.1	2.5	2.5	1	1	100.0	100.0
ネジキ	0.6	0.4	0.2	0.2	5.6	5.0	3.5	3.5	5.6	5.0	3.5	3.5	1	1	100.0	100.0
ヒイラギ	0.4	0.4	0.2	0.2	4.9	4.9	5.0	4.0	4.9	4.9	5.0	4.0	1	1	100.0	100.0
カマツカ	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	1.5	3.0	1.5	1.2	1.5	3.0	1.5	1	1	100.0	100.0
TOTAL	100.0	100.0	44.3	47.7	5.4	6.1	6.1	6.3	29.9	31.8	17.0	22.0	96	87	9600.0	8700.0
TOTAL sub	100.0	100.0	7.2	7.1	3.9	4.7	6.0	5.5	18.3	19.4	16.0	16.0	32	24	3200.0	2400.0
アセビ(枯死)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	1	100.0	100.0
リョウブ(枯死)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	1	100.0	100.0
ソゴ(枯死)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	1	100.0	100.0
TOTAL(枯死)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3	3	300.0	300.0

* BA: 胸高断面合計(m²/ha) RBA: 相対胸高断面積(%) DBH: 胸高直径(cm) H: 樹高(m) STEM: 幹数 DENS.: 幹数密度

* 種名の後の "sub" は萌芽幹を示し、萌芽幹に続く属性値はその種全体の数値内で萌芽間が占める値を指す

* 種名の後の "(枯死)" は枯死幹を示し、それに続く数値は全枯死幹内でその種が占める値を指す

* 数値の網掛けは各回の優占種を示す

2-2-4. 群落構造の変化

群落構成種の直径階分布について図 2-2-2①(1)～図 2-2-2③(2)に、樹高階分布について図 2-2-3①(1)～図 2-2-3③(2)に示した。

① P-1 区

直径階分布を見ると、アカマツやアベマキは小径個体がほとんどなく、一山型の分布になりつつあるが、それ以外の種はまだ小径個体が多く、階層構造が発達していなかったことがわかる。コナラやリョウブなどでは、小径個体に枯死木が見られた。

樹高階分布を見ると、第1回調査時から第2回調査時に全体的に高さ成長が見られたが、特に大きな変化はなかった。アカマツやリョウブ、コナラが林冠を構成するが、アカマツやリョウブでは後継木が見られなかった。

② P-2 区

直径階分布を見ると、アカマツの大径木で枯死個体が見られたのに対し、アカガシは個体数のピークがより大きいクラス（15-20cm）へと移行し、順調に肥大成長したことがわかる。また、アカマツは小径個体のない一山型であるのに対し、アカガシは各クラスに連続的に個体が見られた。

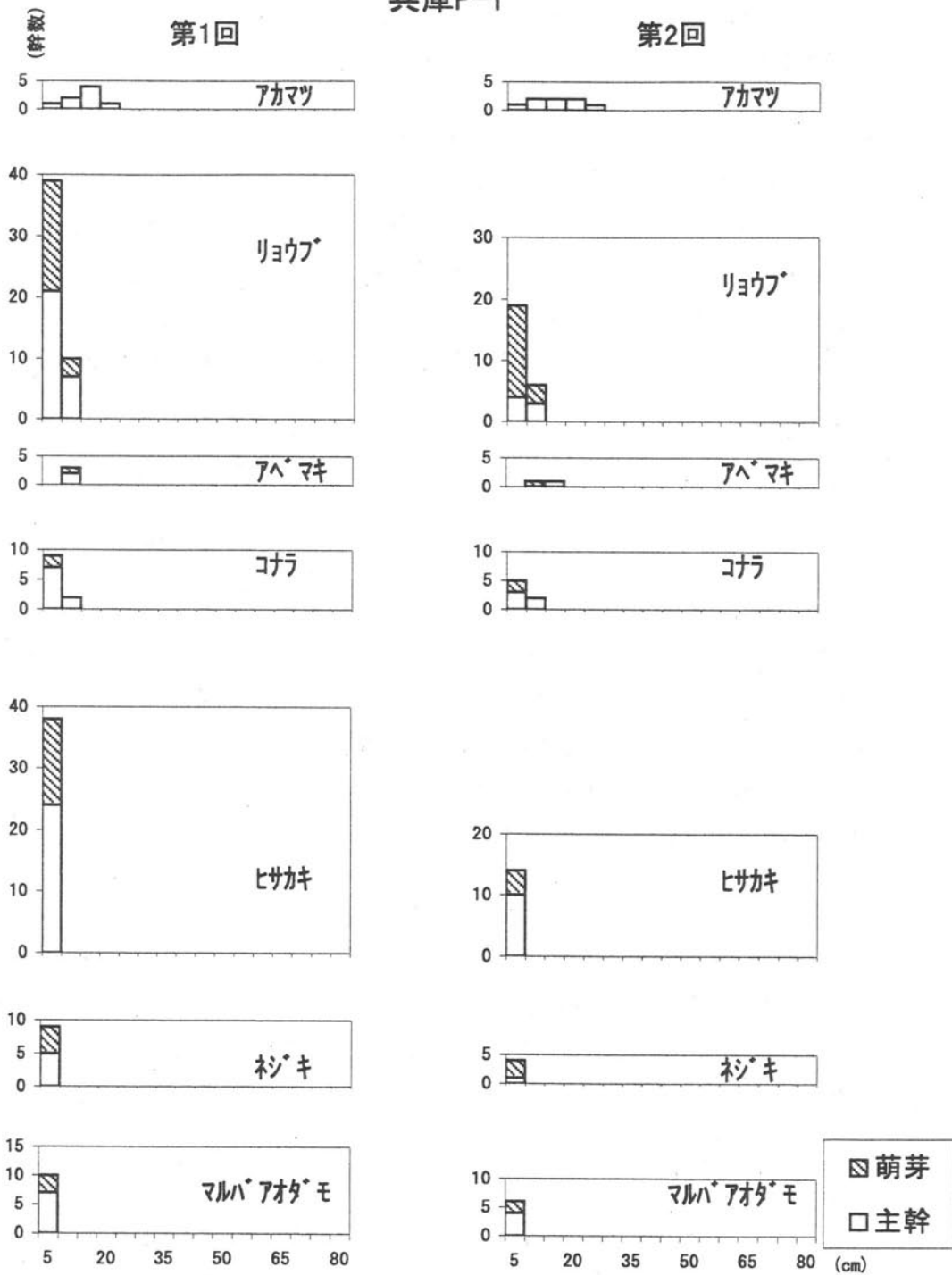
樹高階分布を見ると、2回の調査を比較して大きな変化はなかった。林冠を構成したのはアカマツ、アカガシ、コナラの3種だったが、このうちアカマツとコナラには後継個体がなかった。一方アカガシではほとんどの階層に個体が見られた。亜高木層にはソヨゴが、低木層にはヒサカキやコバノミツバツツジが見られた。

③ P-3 区

直径階分布を見ると、全体的に大きな変化は見られなかった。優占種のうちコナラ、アカマツ、アベマキの3種は一山型の直径階を持ち、リョウブはまだ小径個体が多く見られた。またヒサカキ、ソヨゴは小径個体が多く見られた。

樹高階分布を見ると、全体的に高さ成長が見られ、特にアカマツで高さ成長が目立った。全体的には大きな変化は見られず、林冠層にはコナラ、アカマツ、アベマキが、亜高木層にリョウブ、低木層にヒサカキ、ソヨゴが多く見られた。

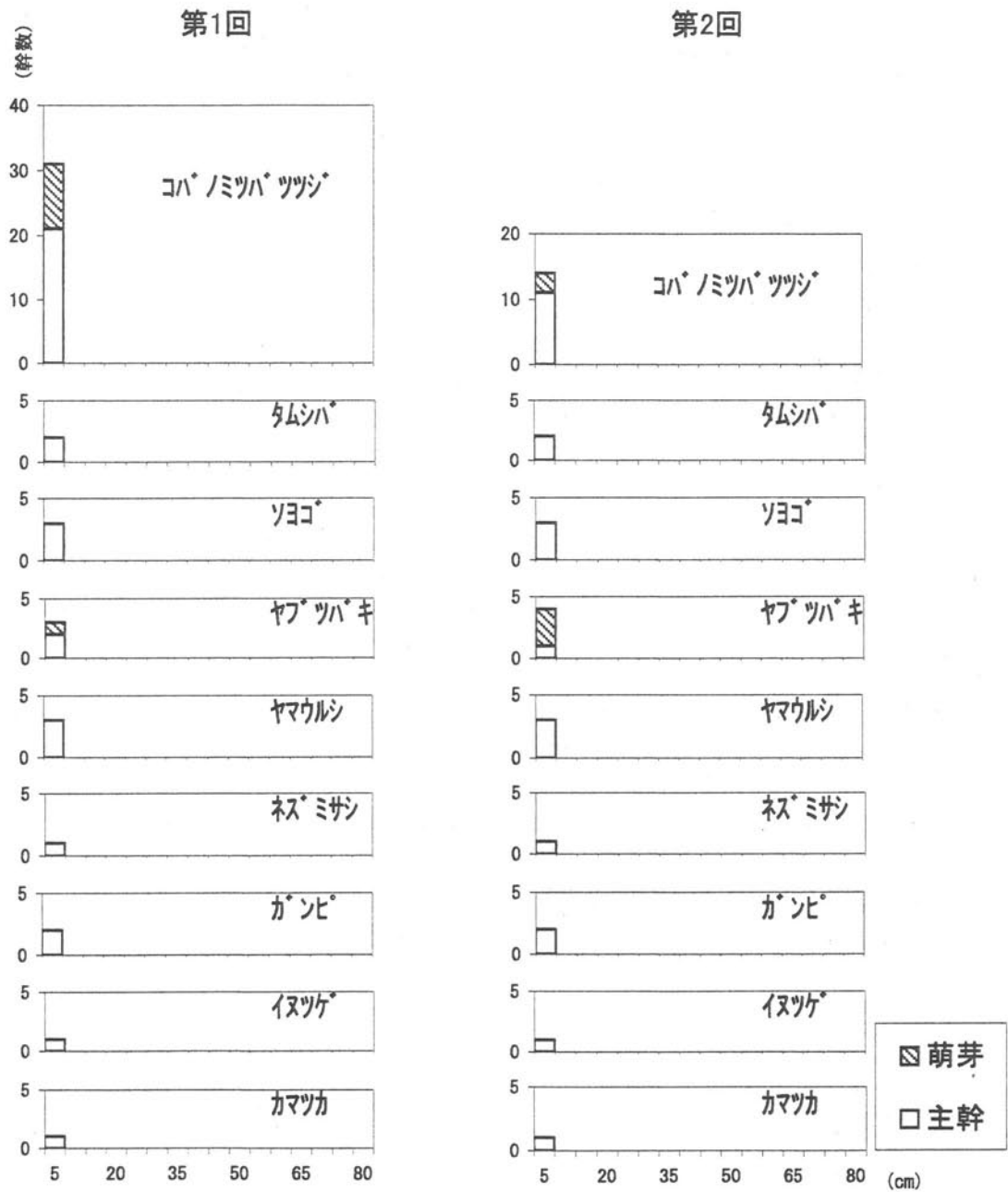
兵庫P-1



胸高直径階 (DBH class、5cmごとの階級)

図2-2-2① 直径階分布 (兵庫県P-1区) (1)

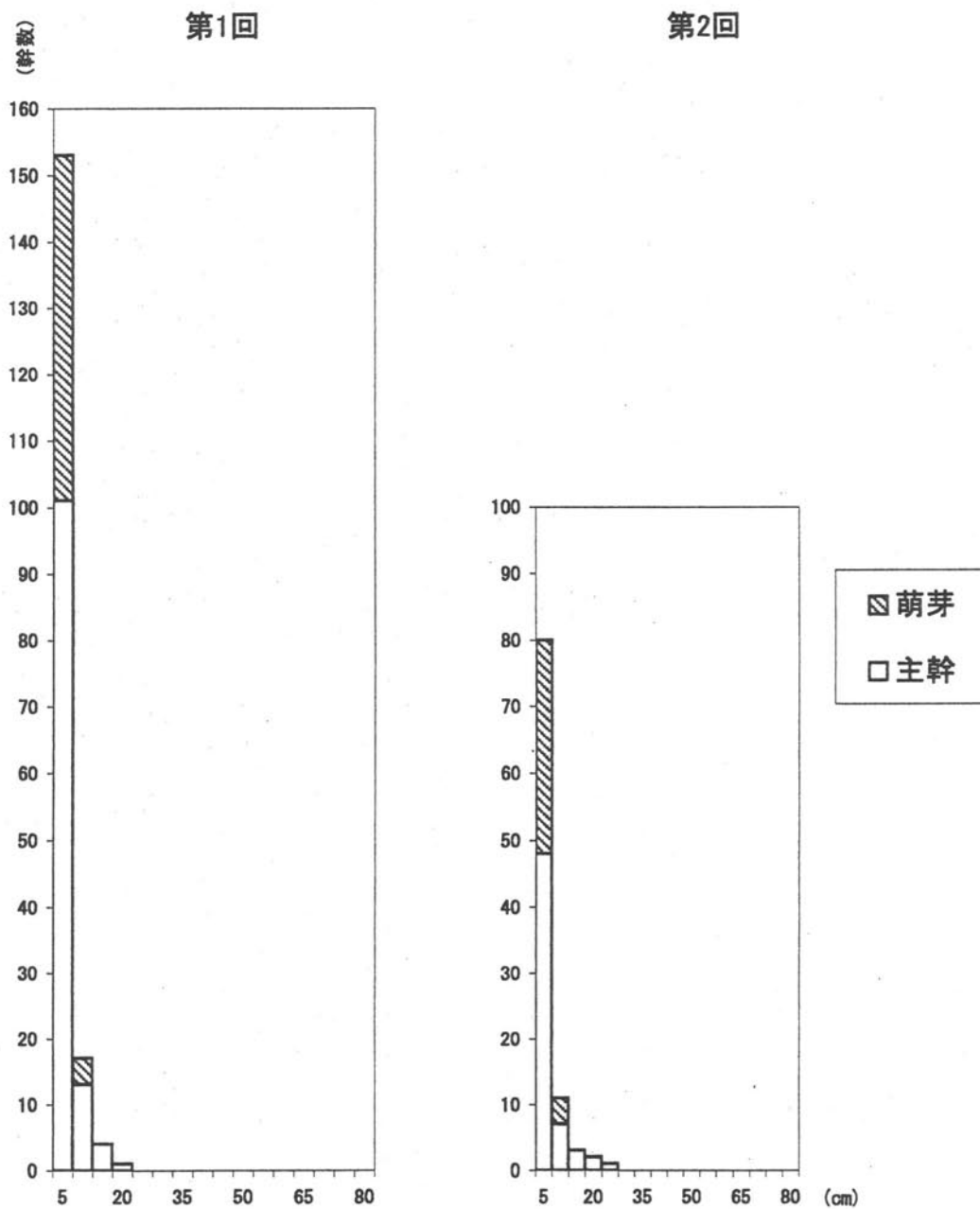
兵庫P-1



胸高直径階 (DBH class、5cmごとの階級)

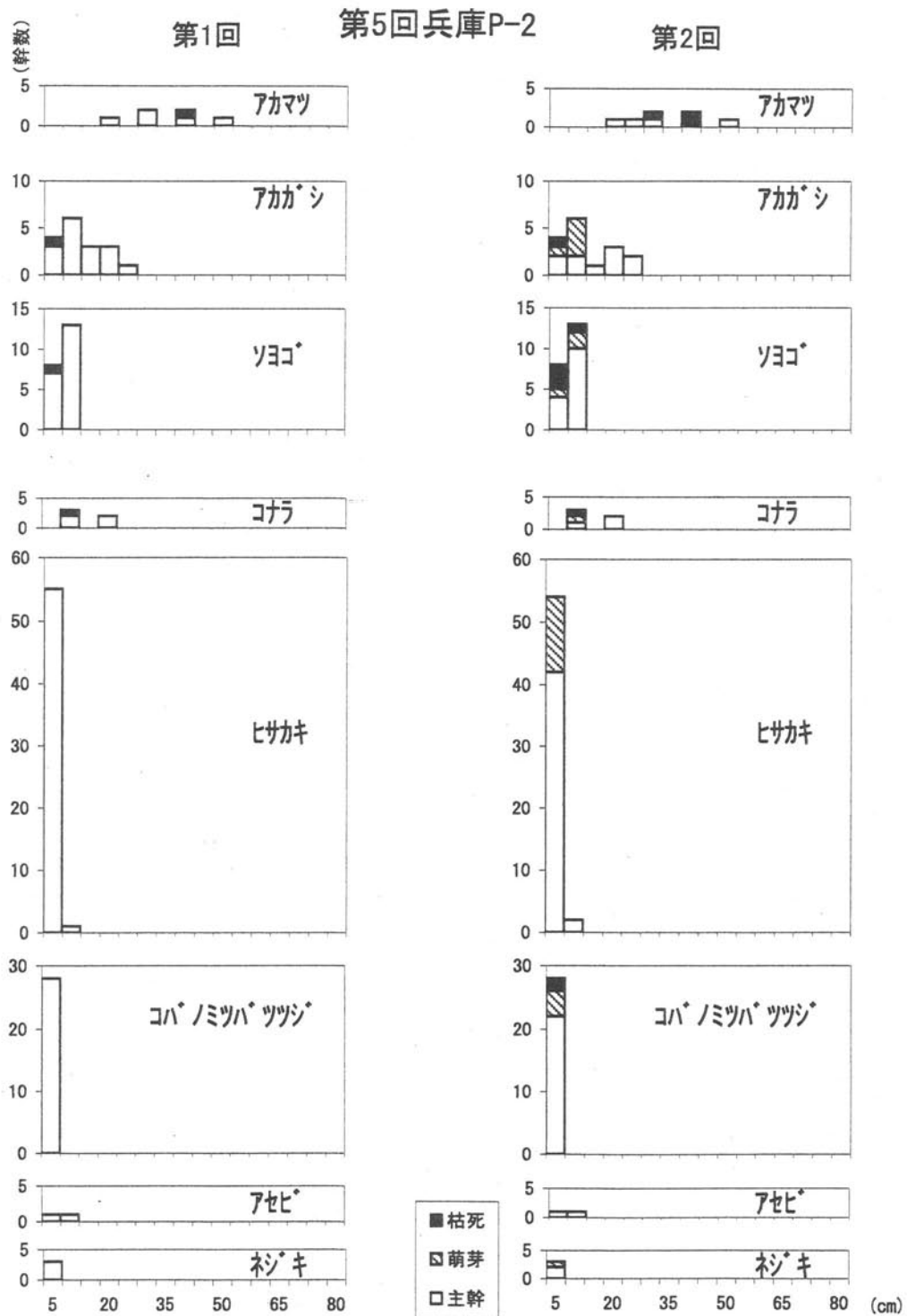
図2-2-2① 直径階分布 (兵庫県P-1区) (2)

第5回兵庫P-1



胸高直径階 (DBH class、5cmごとの階級)

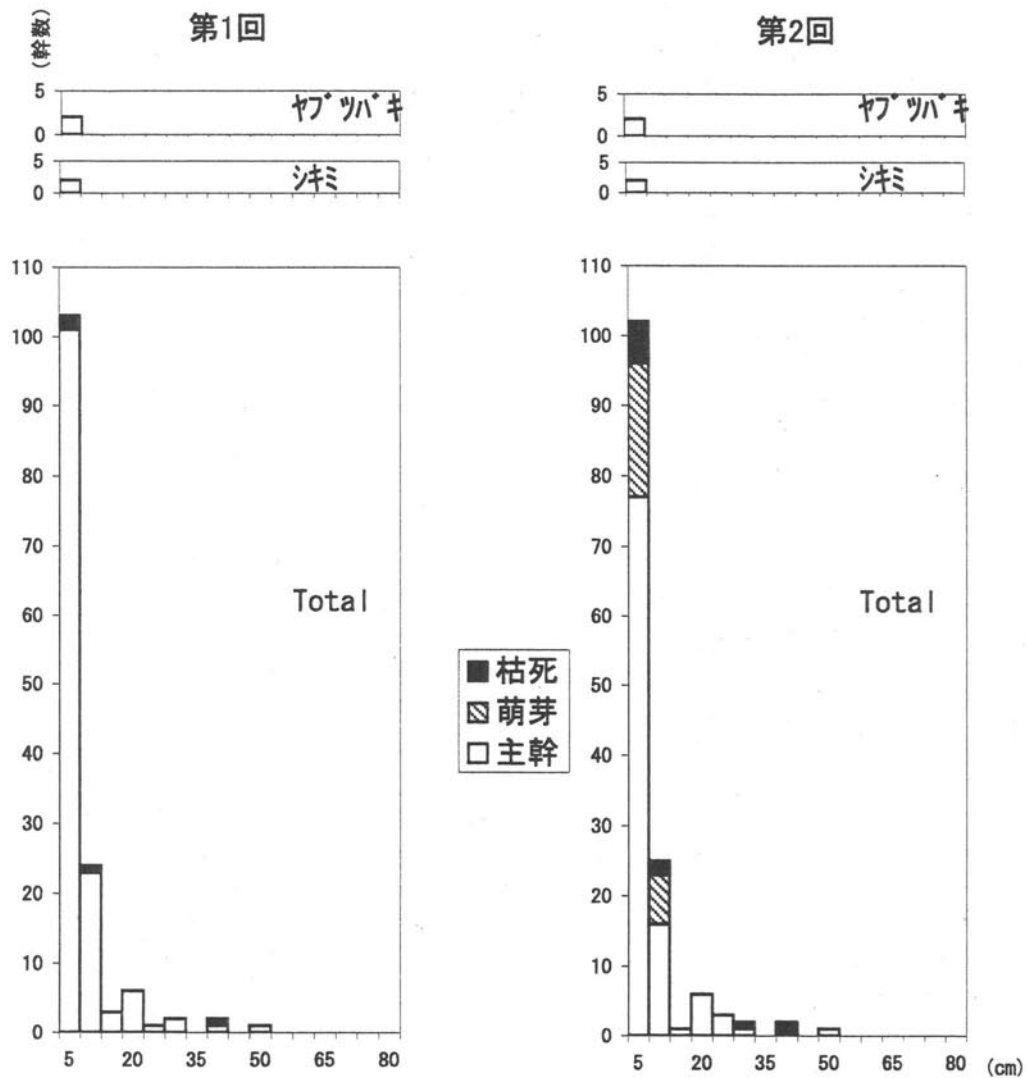
図2-2-2① 直径階分布 (兵庫県P-1区) (3)



胸高直径階 (DBH class、5cmごとの階級)

図2-2-2② 直径階分布 (兵庫県P-2区) (1)

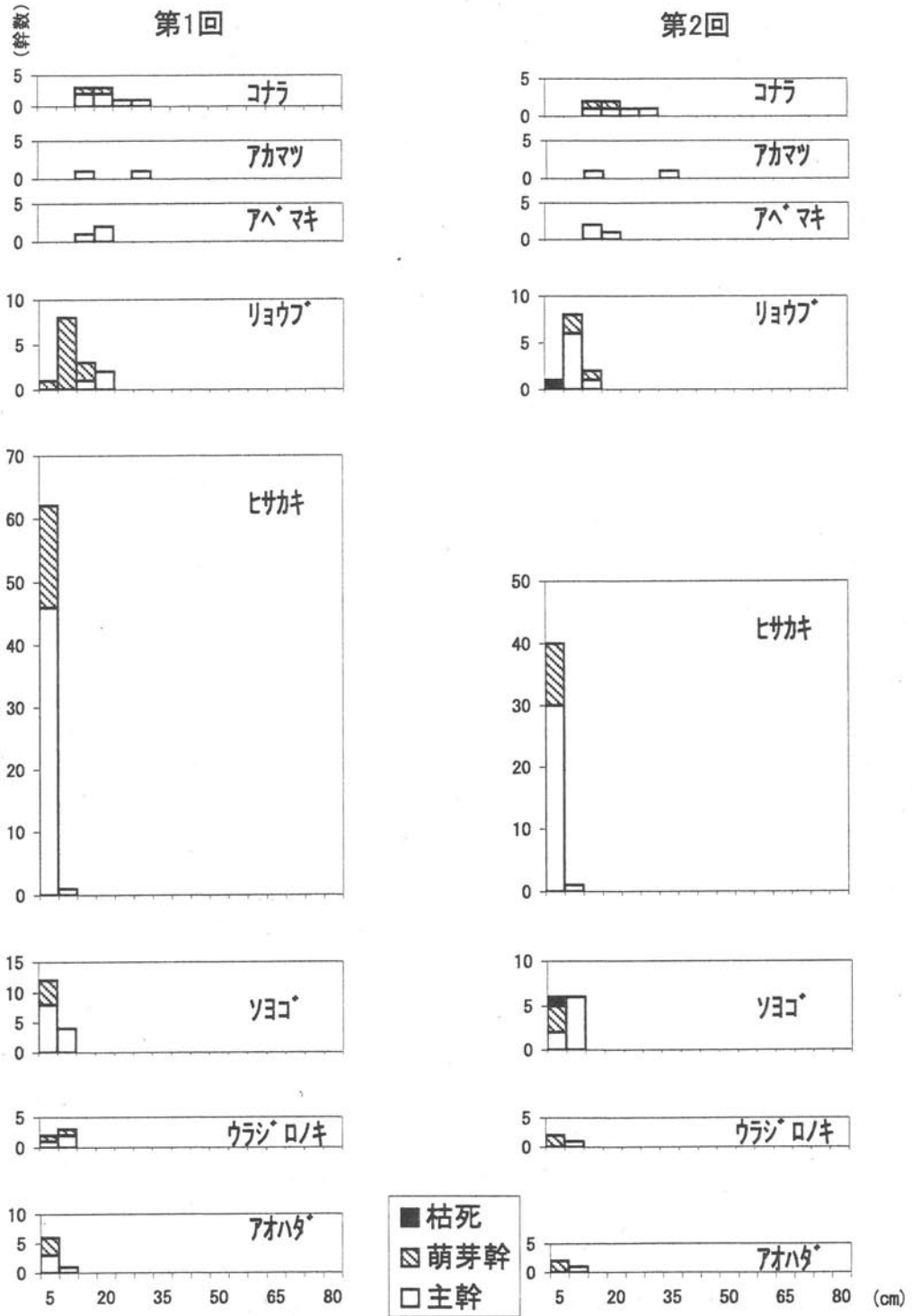
第5回兵庫P-2



胸高直径階 (DBH class、5cmごとの階級)

図2-2-2② 直径階分布 (兵庫県P-2区) (2)

兵庫P-3



胸高直径階 (DBH class、5cmごとの階級)

図2-2-2③ 直径階分布 (兵庫県P-3区) (1)

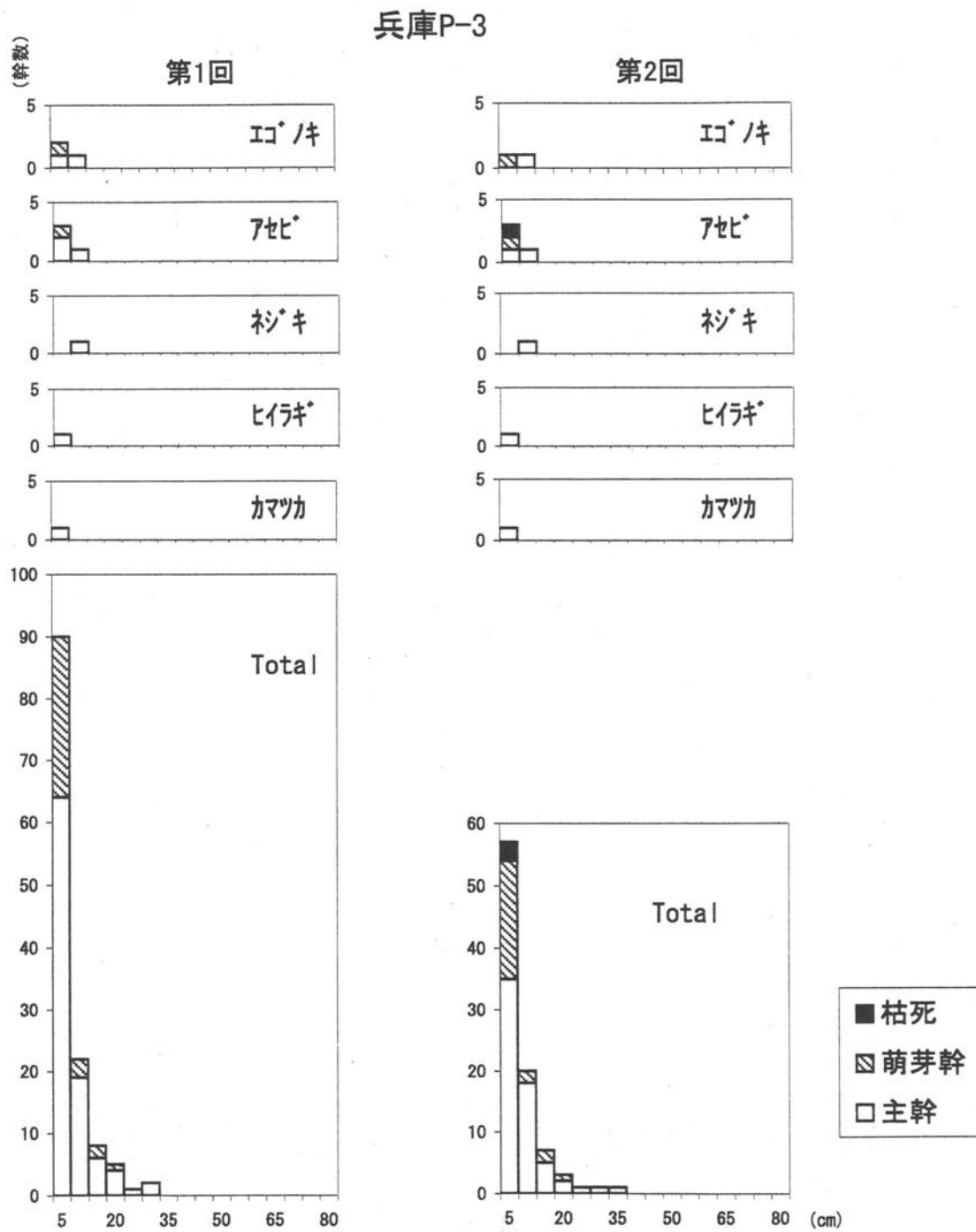


図2-2-2③ 直径階分布 (兵庫県P-3区) (2)

兵庫P-1

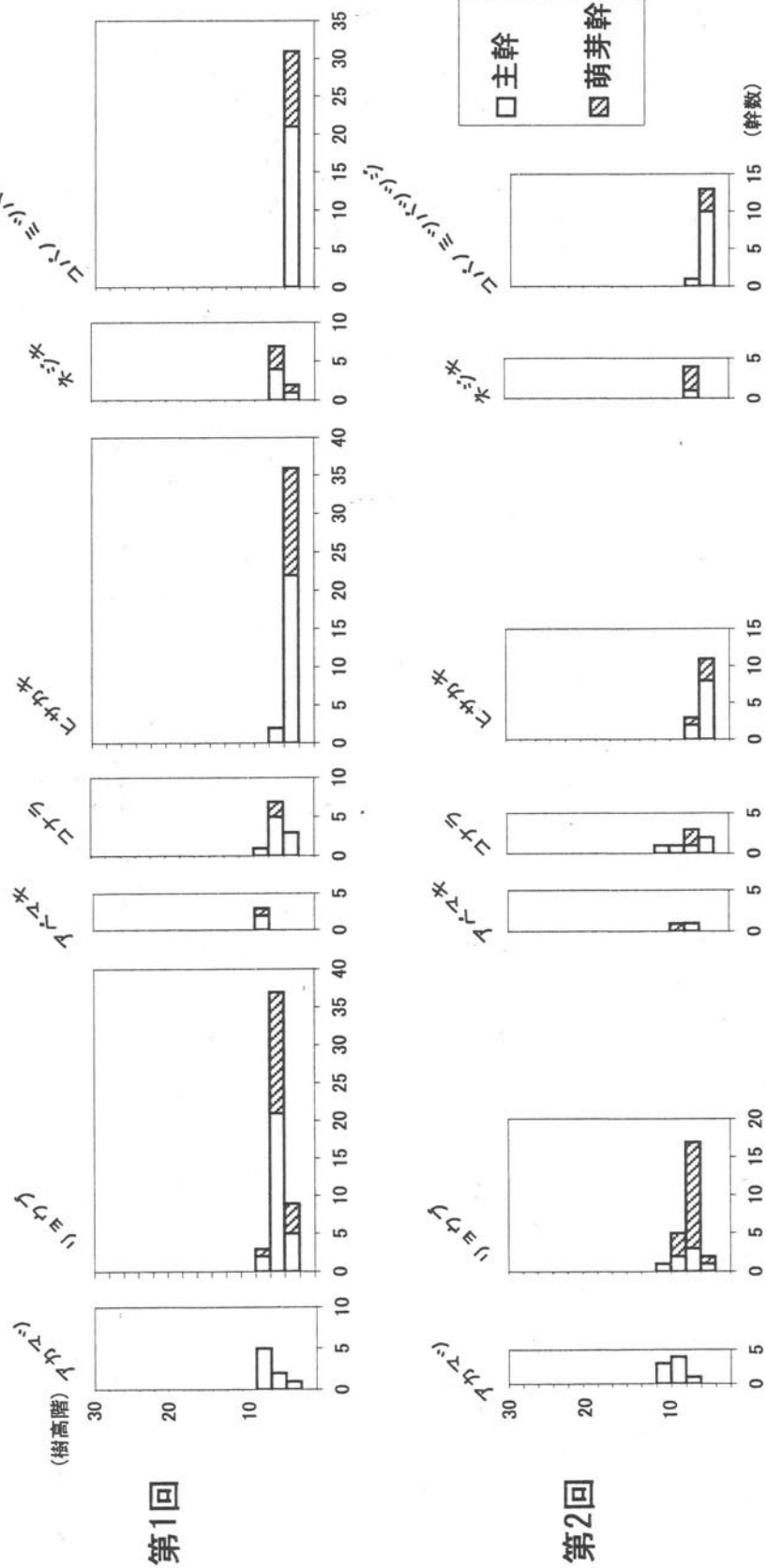


図2-2-3① 樹高階分布 (兵庫県P-1区) (1)